

西洋服飾文化史

鈴木 桜子

1年 後期 必修 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

現在、私たちは洋服を着た生活をしています。しかし日本における洋服の歴史は実質 100 年の歩みでしかありません。私たちが日本で洋服を着るようになるその背後には、西洋文化の中で培われてきた何千年もの歴史があります。

本授業の方針として、有史以来、民族、地域、風土、宗教によって形成されてきた西洋文化を服飾の視点から探っていき、また身体－衣服－空間の視点から時代の美しさを表わしてきた芸術・建築様式との関連性を重視していきます。

■到達目標（学修成果）

古代から近代に至る西洋服飾文化を理解することにより、現代～未来に繋がる衣文化形成への視座を持つことが目標です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は基本的な服飾の成立ちを理解する上で必修科目であり卒業要件科目です。また学芸員課程の履修科目の一つになっています。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション 服飾と様式について	シラバスの確認	10分
2回	I. 古代 エジプト様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
3回	ギリシャ様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
4回	ローマ様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
5回	II. 中世 初期キリスト様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
6回	ビザンティン様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
7回	ロマネスク様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
8回	ゴシック様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
9回	III. 近世 ルネサンス様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
10回	バロック様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
11回	ロココ様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
12回	IV. 近代 新古典主義様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
13回	ロマン主義	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
14回	歴史主義様式	復習：前回ノートの確認+manaba 復習	30分
15回	時代区分と様式美のまとめ、 ヨーロッパ地図の確認	予習：これまでのノート+manaba 復習 の確認	40分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回提出するノートプリントは次回授業時に返却します。また進度に合わせてノートプリント評価をして授業内でフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

※ノートプリントの提出
※manaba を利用した復習の取組み
※授業内小テスト

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

■備考

授業時間外では、本学の図書館や衣裳博物館を大いに利用しましょう。さらにファッション展や建築・デザイン展などの展覧会がある場合にはできるだけ足を運んで実際の作品に触れるようにしましょう。またファッション分野だけではなく、常に広い視野をもって過去・現在・未来を見据えていきましょう。

現代デザイン論

塚本 文雄

1年 後期 選択 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

デザインの時代と呼ばれる現代。技術の進歩と経済的な発展によって、誰でもが簡単にある程度のモノを作ることができるようになった現代。デザインが私たちにもたらすものは何か？そしてデザイナーの役割とは何か？

本授業では、デザインの源流とも言えるアーツアンドクラフツ運動から世界と日本のデザイン変遷を振り返り、現代デザインの様々な潮流を基礎知識として学ぶ。また、様々な分野の現役で活躍しているデザイナー、プロデューサーをゲストとして招き、授業担当者のデザイン関連のPR企画実務経験と併せ、学生との質疑応答を交えながら現代デザインの課題と未来の展望を考察する。

■到達目標 (学修成果)

デザインを志す者にとって知っておきたいファッション領域以外のデザインの基礎知識を得ることで広い視野を持てるようにする。現代デザインの潮流や課題を理解することでこれからのデザイナーの在り方を考え、意識を高められるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目で卒業要件単位となります。造形の授業と関連し、デザインとは何かを自ら問い、考えることで、自分自身の将来への指針に活かす契機となるでしょう。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	【イントロダクション1】本講義の概要と目的を説明。デザインとは何か？	復習：授業目的、今後の課題スケジュールなど確認してください。	10分
2回	【イントロダクション2】ゲスト「デザインジャーナリスト」デザインジャーナリストの仕事を通して得た、現代日本デザインの課題やデザイナーの可能性を語る	復習：ゲスト講師講義の感想文を当日提出	60分
3回	【世界のデザイン史1】1800年代～1930年代 アーツアンドクラフツからモダニズムの時代へ	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
4回	【世界のデザイン史2】1930年代～1960年代 モダニズムの時代から戦後のデザインまで	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
5回	【世界のデザイン史3】1970年代～1990年代 戦後のデザインから2000年まで	復習：7回目の授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
6回	【デザインの今2 インテリアデザイン】ゲスト「インテリアデザイナー」インテリアデザインのトレンドと課題、将来への展望を実務経験と併せて語る。	復習：ゲスト講師講義の感想文を当日提出	60分
7回	【日本のデザイン史1】明治～1945年まで 殖産興業から戦時下のデザインまで	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
8回	【日本のデザイン史2】戦後～1960年代まで 戦後のデザインから高度成長期へ	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
9回	【日本のデザイン史3】1970年～2000年まで 大阪万博から2000年まで	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
10回	【現代デザインの潮流1】2000年以降のデザイン～デザインとビジネス。IT進化により世の中が激変する中、デザイナーの価値とは？課題は何か	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
11回	【現代のデザイン潮流2】デザイントレンドと世界のデザインミュージアムの活動と役割	復習：翌週授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
12回	【現代デザインの潮流3】世界で活躍する日本人デザイナーの作品から、彼らのデザインの考え方を紐解く。	復習：14回目の授業時に振り返りを行うためレジュメの確認をすること。	30分
13回	【デザインの今3 広告デザイン】ゲスト「広告ディレクター」広告デザインのトレンドと課題、将来への展望を実務経験と併せて語る。	復習：ゲスト講師講義の感想文を当日提出	60分
14回	【デザインの未来1】これからのデザインとは？デザインの可能性とデザイナーの在り方を考える。	復習：最終課題のための準備をする。	30分
15回	【デザインの未来2 現代デザイン論総括】授業内容全体を振り返りとまとめ。	復習：最終課題のための準備をする。	30分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題：中課題：レポート：デザイン展覧会などの感想文 (予定)・2本。

小課題：ゲスト招聘授業時の感想文 (予定)・3本。

最終課題は授業総括期末レポート。課題は、いずれも「manaba」に期限内に提出後、中課題、最終課題は、個別フィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 なし

■参考文献 必要に応じて授業で紹介する。

■オフィスアワー・研究室 教務課を通じて連絡してください。出講日：木曜日

■備考 ゲスト招聘の回は、日程変更、内容変更が生じる場合があるため、都度、授業時に周知する。

日本美術史

佐伯 英里子

1年 後期 選択 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

日本美術史の入門科目です。日本の歴史の流れに沿って、日本美術の代表的作品を概観します。個々の作品の造形特質や魅力を探るとともに、作品を生み出した社会的背景などにも考究します。

■到達目標（学修成果）

日本美術の代表的作品を多面的に考察し、日本美術に関する基礎的知識を身につけ、各時代の特色を理解して、日本美術の歴史的展開に対する概括的な理解に到達します。更に、そこに一貫する日本美術の本質や、日本人の美意識の問題を考究する手がかりを得ることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の選択科目です。学芸員免許取得のための学芸員課程必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	ガイダンス・学習方法・参考文献紹介など。 レポート作成のための準備、書式などについての説明	予習：シラバスを読んでおいて下さい。	30分
2回	縄文文化と弥生文化：縄文土偶と埴輪	復習：縄文土偶と埴輪の特徴をまとめる。	30分
3回	奈良時代1：仏教美術の到来－聖徳太子と法隆寺	復習：法隆寺釈迦三尊の特徴についてまとめる。	30分
4回	奈良時代2：天平文化－東大寺と興福寺	復習：東大寺法華堂諸尊の構成についてまとめる	30分
5回	平安時代1：密教美術と浄土教美術	復習：東寺と平等院の彫刻についてまとめる。	30分
6回	平安時代2：絵巻物の世界－4大絵巻を中心に	復習：代表的絵巻の概要と特色についてまとめる。	30分
7回	鎌倉時代1：肖像画と似絵－伝源頼朝像を中心に	復習：伝頼朝像の造形的特色についてまとめる。	30分
8回	鎌倉時代2：東大寺復興－運慶と快慶	復習：運慶快慶の代表作についてまとめる。	30分
9回	室町時代：水墨画の受容－雪舟を中心に	復習：雪舟の中国体験についてまとめる。	30分
10回	桃山時代：大航海時代の金碧障壁画－永徳と等伯	復習：永徳と等伯の作品の特色についてまとめる。	30分
11回	江戸時代：御用絵師狩野派と琳派	復習：狩野探幽や宗達、光琳作品の特色についてまとめる。	30分
12回	江戸時代：文人画と写生派	復習：大雅、応挙、若冲の作品の特色についてまとめる。	30分
13回	江戸時代：浮世絵とヨーロッパ絵画	復習：歌麿、写楽、北斎の作品の特色についてまとめる。	30分
14回	まとめと到達度確認のための小テスト	予習：教科書、プリント、ノートを参照し、総復習を行う	60分
15回	小レポートの概評、小テストの解説	復習：小テストを振り返る	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小レポートの概評、小テストの解説を第15週に行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『日本美術史ハンドブック』新書館

■参考文献

『すぐわかる絵巻の見かた』東京美術

『すぐわかる日本の仏教美術』東京美術

■オフィスアワー・研究室

連絡や質問等は教務課へお願いします。前期後期：水曜日 連絡先：本校舎1階教務課

■備考

授業の計画に関しては進行速度や順番において変更の可能性もあります。基礎的知識を身につけることが大事なので、復習に力を入れて下さい。manabaで授業に関する連絡をする場合もありますので、ニュースをチェックするようにして下さい。

西洋美術史

佐倉 香

1年 前期 選択 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

西洋美術史の代表的な諸作例を時代に沿って概観し、言葉によらない—主に視覚的な—表現としての美術がもつ意義の歴史的な変遷を辿ります。毎回スライド (Power Point, 時にビデオやDVD) の画像を使用して、時代や様式の特徴、美術表現の見方について学んでゆきます。個々の作例の特質を、主題や時代・地域的背景、デザイン、材料・技法その他の側面から立体的に捉えて解説し、また毎回の内容に関して各自考察して互いに見解を述べ合いながら、美術表現がもっている様々な力を探求します。授業に関連する作品を実際に鑑賞する貴重な機会として美術館見学も行う予定です。

■到達目標 (学修成果)

①西洋の美術史や美術表現に関する基礎的な知識の習得。②美術表現の見方を自分なりに理解し、③その知識と理解に基づいて、関心を抱いた美術表現を独自に鑑賞・考察し、さらなる発展へと繋げることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目の卒業要件単位、学芸員課程必修科目です。古今の美術表現や装飾の変遷とその時代背景等に関する造詣は、服飾に関しても本質的かつ重要な一要素として活かされるものです。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	【ガイダンス】講義の概要と文献、また美術表現の見方について、古今の美術表現を取り上げつつ説明する。	シラバスをよく読む。自分なりの効果的な受講法を考える。	30分
2回	【先史時代～中世】西洋美術の基盤となる古代エジプト、ギリシア、ローマの美術。中世における宗教的美術作品。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
3回	【ルネサンス、マニエリスム】15-16世紀、文化史の大きな転換点となるイタリア・ルネサンス、および他の地域の美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
4回	【バロック、ロココ】17-18世紀の西欧各地における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
5回	【新古典主義、ロマン主義】18世紀末-19世紀前半における美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
6回	【リアリズム】19世紀中頃の、美醜を問わず現実の諸相を表現した写実的美術について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
7回	【見学会】美術館を訪れて作品を鑑賞し、知識、関心を深める (日程、方法は変更の可能性もある)。	美術館のサイトその他で下調べを行う。考察をまとめ見学レポートを作成。	60分
8回	【印象主義】19世紀後半の革命的絵画運動であった印象主義の美術。アカデミズムとの対立や人々の反応など。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
9回	【後期印象主義、新印象主義】19世紀末における、印象主義後の展開と影響。新しい個性の登場。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
10回	【象徴主義、アール・ヌーヴォー】19世紀末-20世紀初頭にかけての、精神性、装飾性などを特徴とする美術。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
11回	【フォービズム、エコール・ド・パリ】20世紀初頭の、自由な色彩に特徴をもつ美術を中心に。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
12回	【キュビズム】20世紀初頭における、形や構図に特徴をもつ美術を中心に。また、「抽象」について。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
13回	【ドイツ表現主義、ダダ、シュールレアリスム、戦後の美術】多様な内面表出、二度の大戦を経て現在までの諸相。	テキスト、プリントの該当箇所を読む。関心を持った作例についてさらに追求。	30分
14回	【まとめ】西洋美術の歴史を各回のテーマとともに振り返り、知識を確認し、各自の考察をまとめる。	テキスト、配布物の総復習。任意のテーマについて追求し考察をまとめる。	120分以上
15回	【フィードバック】知識と考察の総復習を行う。	批評により自らの理解を見直し、今後の応用について考える。	60分

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に小レポートと小テストを返却予定。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

・以上は授業への十分な参加を前提とする。

・その他については授業時に指示する。

■教科書

千足伸行監修、『新西洋美術史』, 西村書店。また、授業で随時参考プリントを配布します。

■参考文献

秋山總・田中正之監修、『西洋美術史』, 美術出版社, 2021。ほか、必要に応じて授業で紹介します。

■オフィスアワー・研究室

前期: 水曜日 (12時10分～12時50分) 第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課

後期: 水曜日 (14時15分～14時35分) 第3校舎1階講師控室、または本校舎1階教務課

■備考 毎回テキストを持参してください。

生涯学習概論

柄越 祥子

1年 後期 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

学芸員という専門職を目指すにあたり、「生涯学習」について、学習者の学びを援助、促進するという視点から教育的に考えていく授業です。その上で、生涯学習の現場に繋がっていくような、政策理念や制度の知識にも触れていきます。授業ではフィールドワークやグループディスカッションなども取り入れていきます。また、毎回授業の終わりに質問表の提出をしていただきます。

■到達目標（学修成果）

生涯学習論の基礎的な知識を学び、学芸員として勤務する上での素地となる生涯学習理論を習得することを到達目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。国家資格「学芸員」を取得するための学芸員課程の必修科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション・生涯学習とは何か（定義）	予習：シラバスを読んで要点をまとめる。	30分
2回	生涯学習の現代的意義	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の現代的意義の確認をする。	30分
3回	発達理論と生涯学習	復習：発達理論の確認をする。	30分
4回	生涯学習の学習内容①	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の内容について確認する。	30分
5回	生涯学習の学習内容②	復習：生涯学習の学びとはなにか、まとめる。	45分
6回	生涯学習の形態・方法	復習：生涯学習の方法について確認する。	30分
7回	生涯学習の社会的位相	復習：教科書の指摘した箇所を読んで、「解放」の生涯学習について確認する。	30分
8回	施設による生涯学習支援①	復習：社会教育施設について確認し、フィールドワークの準備をする。	30分
9回	公共施設での生涯学習支援の実際（フィールドワーク）①	予習：施設について資料を確認し、見学ポイントの整理をする。	30分
10回	公共施設での生涯学習支援の実際（フィールドワーク）②	復習：フィールドワークレポート【1】の作成	60分
11回	施設による生涯学習支援②	復習：教科書の指摘した箇所を読み、生涯学習の施設のまとめを行う。	30分
12回	行政による生涯学習の振興	課題：フィールドワークレポート【2】の作成。	60分
13回	民間による生涯学習支援	課題：フィールドワークレポート【2】の作成。	60分
14回	授業の振り返りとレポート課題のフィードバック	復習：これまでの授業内容を整理する。	60分
15回	まとめ 小テストのフィードバック	復習：小テストの見直し。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

14回目レポート課題のフィードバックや返却、15回目に試験の解説を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

香川正弘・鈴木眞理・永井健夫編『よくわかる生涯学習・改訂版』ミネルヴァ書房

■参考文献

適宜授業内で指示します。

■オフィスアワー・研究室

前期：連絡先 本校舎1階教務課

後期：土曜日の授業の前後 授業実施教室

■備考

なし

博物館概論

丸山 憲子

1年 後期 学芸員課程必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

学芸員課程最初の講義です。博物館について、学芸員について、博物館学について概説する。歴史的、社会的な面から「博物館」を理解し、現代博物館の必要性、存在意義を、今日的課題を踏まえて理解、考察する。また、博物館における各機能、及び学芸員業務等を博物館学観点から学習していく。

■到達目標（学修成果）

- ・「博物館」の今日的課題と博物館学の理論・方法論、博物館史等の理解と習得
- ・学芸員としての基本的知識の習得
- ・「博物館」をめぐる問題意識の向上

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得するべき博物館に関する科目の単位の一つ。卒業要件科目ではありません。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション（現代社会における博物館の概要・学芸員課程の概要の説明・授業計画）	予習：シラバス（学芸員課程部分）を読んでおくこと。	30分
2回	博物館法等日本における博物館に関する法制について学習する。	予習：博物館法を読んでおくこと。 復習：関係法規を整理しておくこと。	60分
3回	博物館法による登録博物館等の分類はじめ、様々な現代博物館の分類について学習する。	復習：配布資料の読み返し、語句を整理しておくこと。	30分
4回	博物館学について学習する。	復習：配布資料の読み返し。	30分
5回	博物館学芸員をめぐる法制及び職務について学習する。 博物館法についてのまとめ	復習：教科書の読み返し。	30分
6回	博物館における「資料」について学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。」	30分
7回	博物館における機能について博物館学的観点から学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回	博物館の歴史を世界的観点から学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回	日本における博物館の歴史を学習する。	復習：配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回	日本における博物館学史を学習する。 博物館史・博物館学史のまとめ	復習：教科書、配布資料の読み返し、 棚橋源太郎について復習しておくこと。	60分
11回	博物館経営について学習する。	復習：教科書の読み返し	30分
12回	博物館設立の流れや経緯について学習する。	予習：博物館1館を選び、その歴史を まとめておくこと。 復習：配布資料の読み返し。	90分
13回	現代博物館をめぐる社会的問題について学習する。	復習：配布資料の読み返し。社会的問題 をまとめておくこと。	30分
14回	現代博物館の課題と今後の展望について考察する。	復習：配布資料の読み返し。全体の振 り返り	90分
15回	総まとめ	復習：振り返り	60分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

小テスト・試験後の解説

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会編 芙蓉書房出版

■参考文献

随時 紹介する

課題内容に即した資料プリントを配布します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階）

出講日：土曜日

■備考 積極的に博物館見学をし、manaba等を利用しての見学記の発表をしてもらいます。